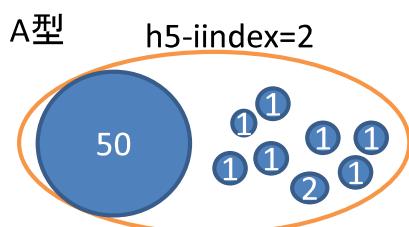


# 厚みはどう変化しうるのか

研究者の移動による大学の変化  
荒い荒い思考実験…

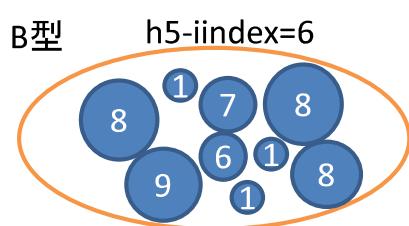
川本 思心  
2017年6月16日

## 「厚み」は研究者の移動で どう変化しうるのか



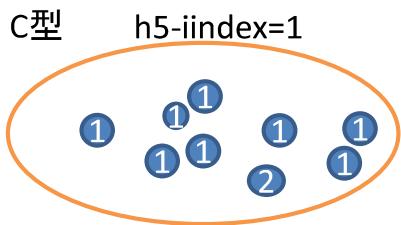
厚み指標で、大学(同分野)はおおまかにま  
ず三つのタイプにわけられるとする

左図の各オブジェクトは本来は論文であって  
研究者ではないが、最も引用されている論文  
を代表して表示した研究者であるとする

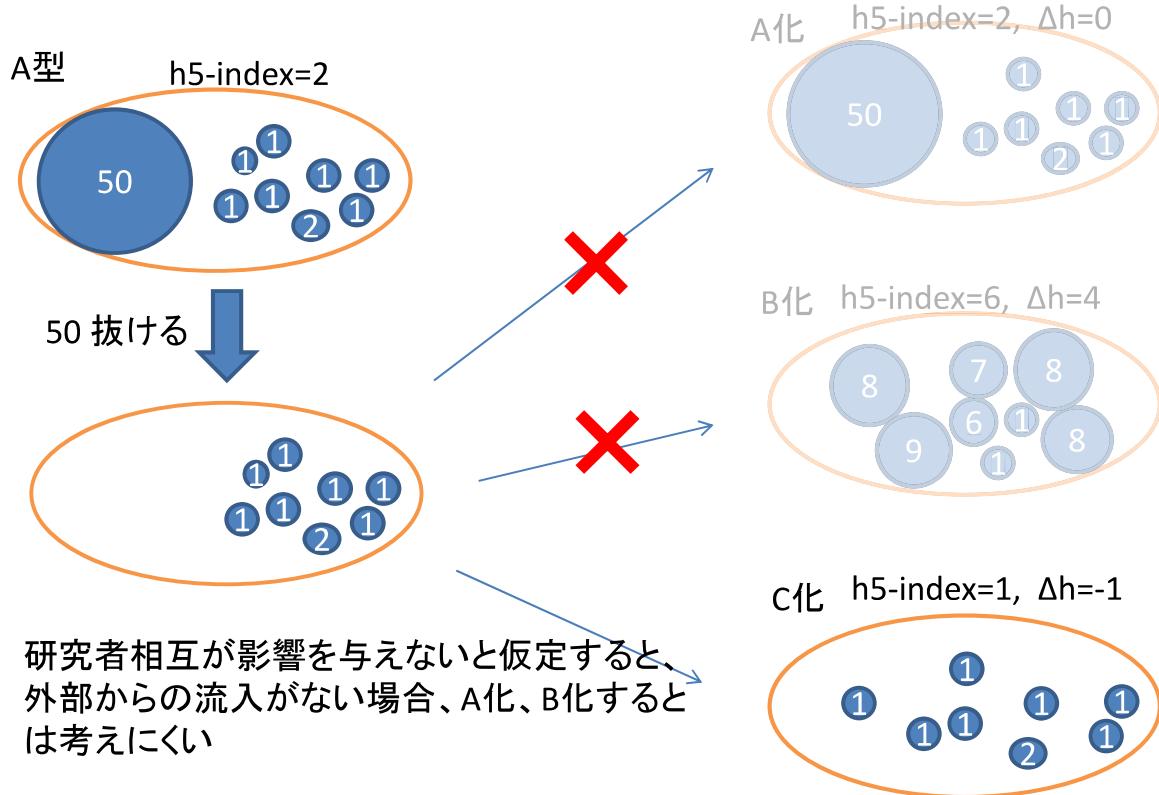


相互に研究者が移動する場合、それぞれの  
大学の厚みはどう変化しうるのか

Topの研究者(被引用件数が多い論文を書い  
た研究者)が移動する可能性が高いと仮定す  
る

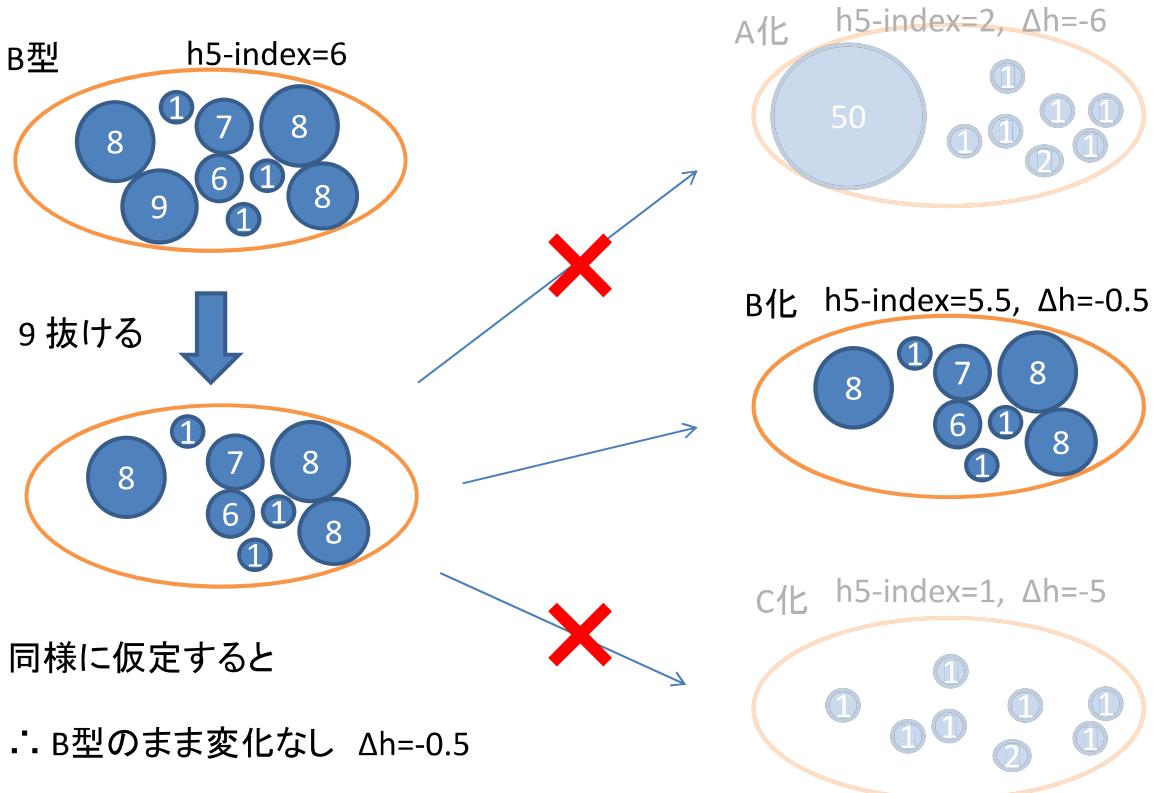


# Aからの流出と変化



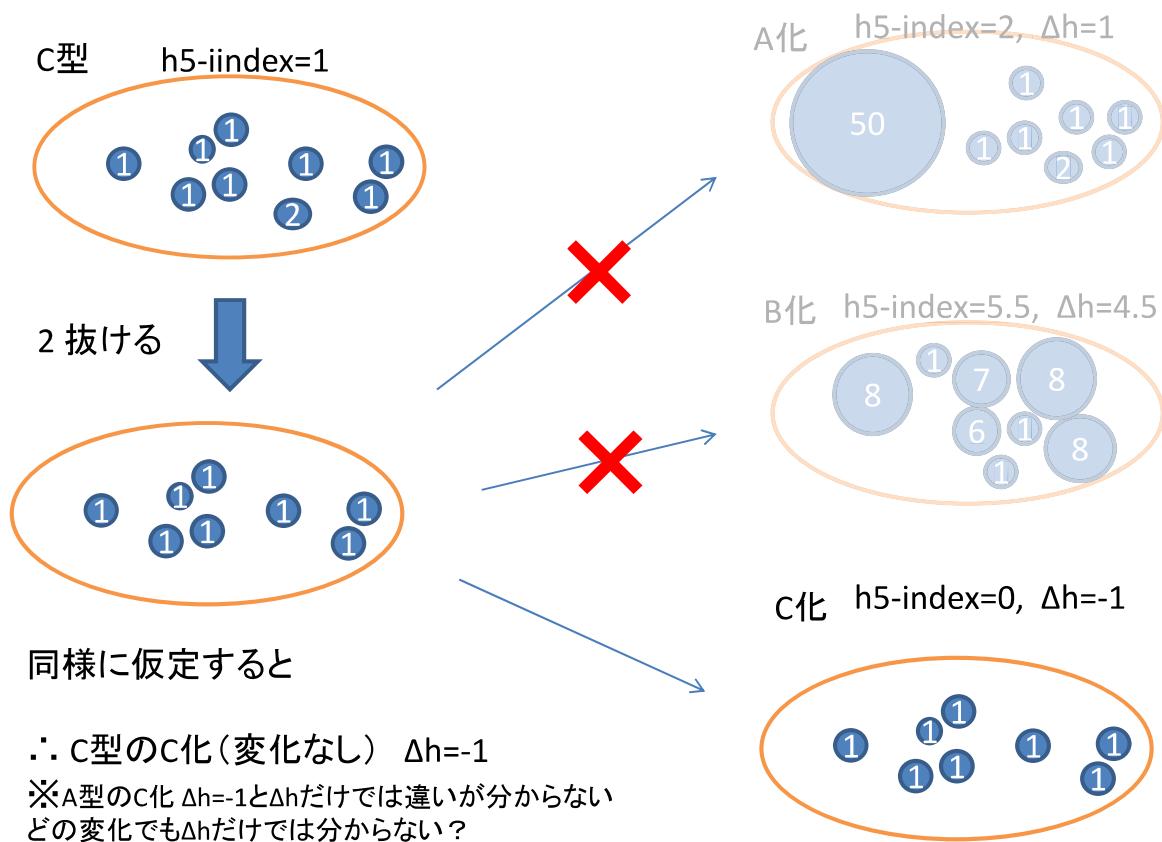
3

# Bからの流出と変化



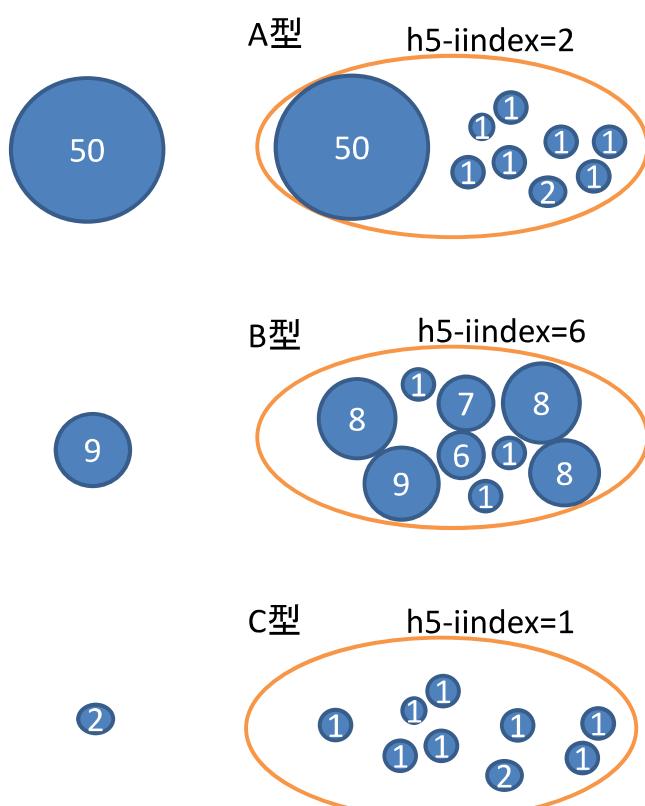
4

# Cからの流出と変化



5

## どこに流入するか



流出した50、9、2のそれぞれは、A型、B型、C型のどれかに流入するとする

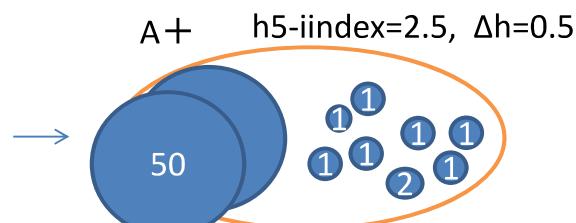
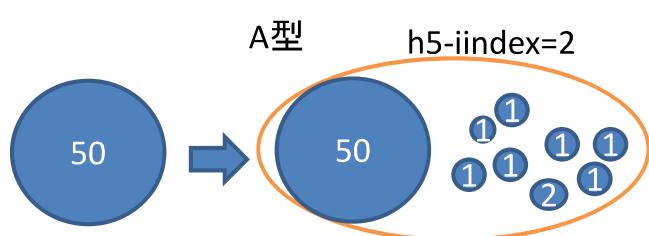
大学側は、厚みを考慮せず、既存研究者と同等あるいは被引用数の多い論文著者を招へいするとする

研究者側も、厚みを考慮せず、被引用数が多い大学へ行くとする

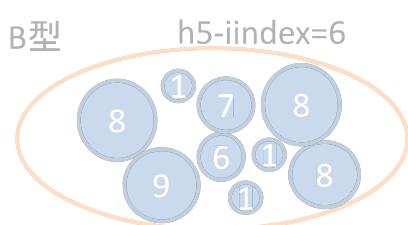
※ゲーム理論?

6

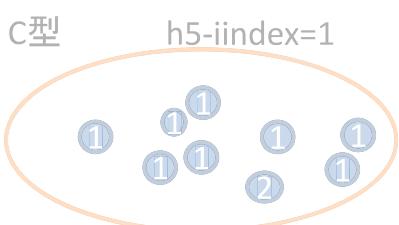
# 50の流入と変化



50はA型のみを希望し、A型も50を求めるため、  
50はA型に入ることができる

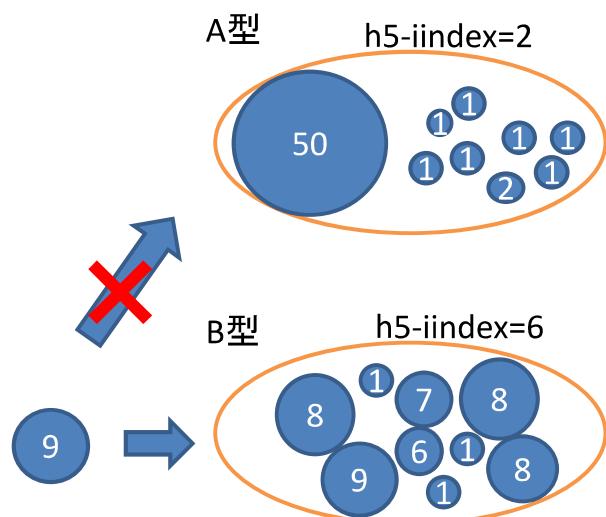


A型はそのまま(厚みを増したA+になる)



7

# 9の流入と変化

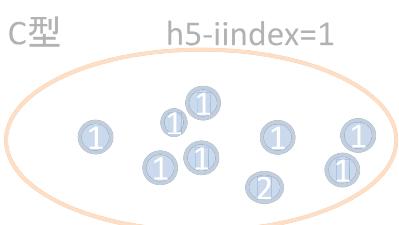
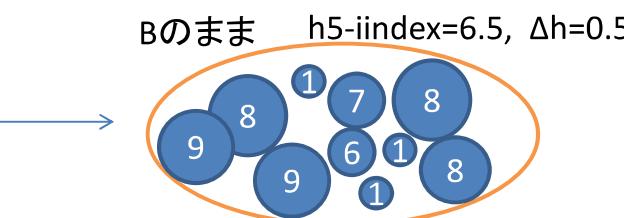


9はA型とB型を希望するが、A型は9を求めず、  
9はB型にしか流入できない

B型       $h5\text{-iindex}=6$

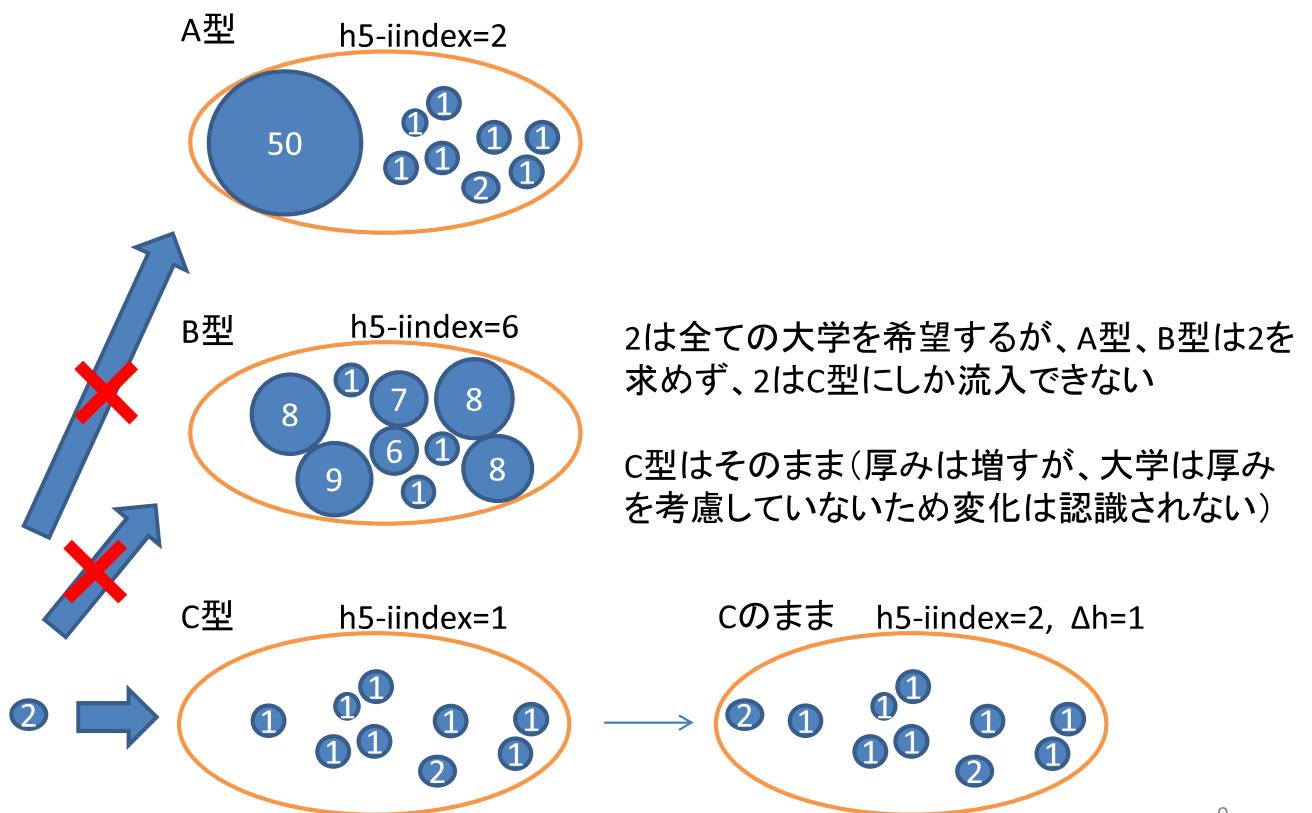
8 7 8  
9 6 1 1

B型はそのまま(厚みは増すが、大学は厚みを考慮していないため変化は認識されない)



8

# 2の流入と変化



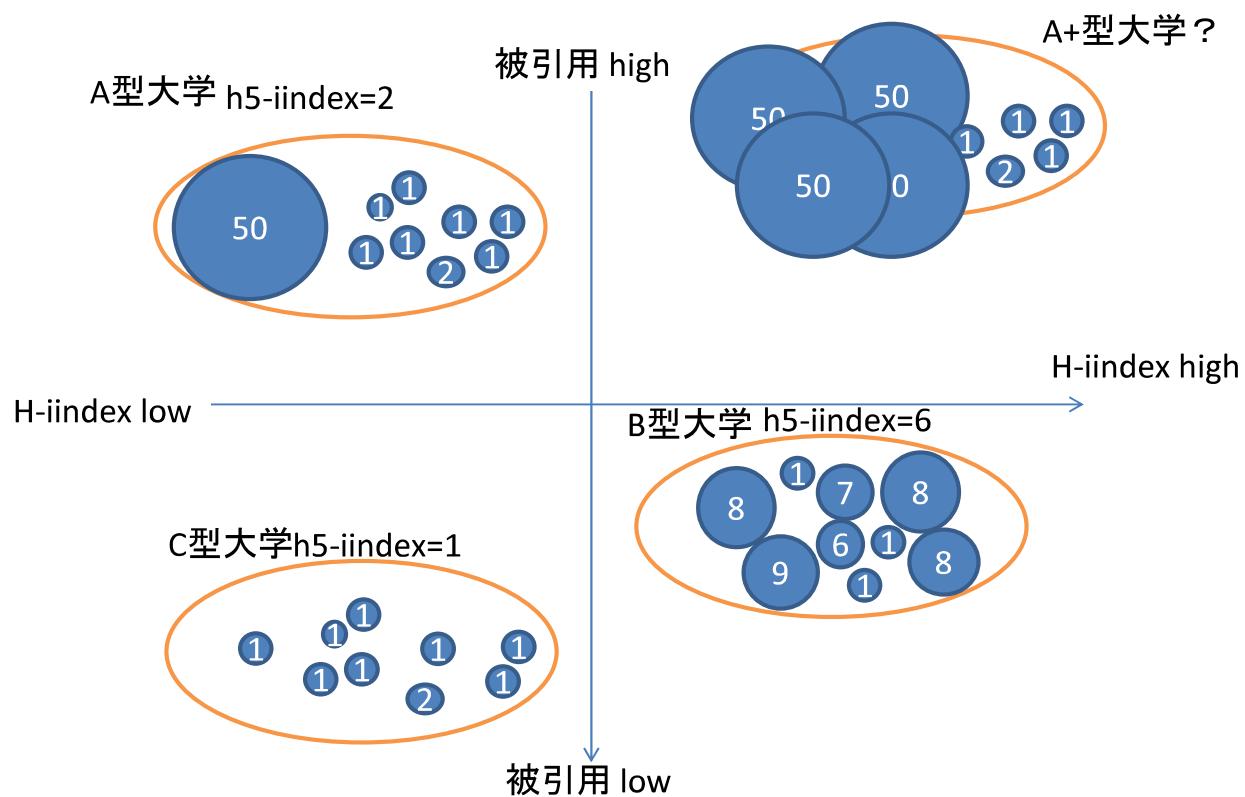
9

## 厚みを考慮しないと 大富豪的状況に？

	Before	After	その後の流入	after2
流出	A-50	C	C+2	C
	B-9	B	B+9	B
	C-2	C	C+2	C
流入	A+50	A+		
	B+9	B		
	C+2	C		

研究者と大学双方が厚みを考慮せず、被引用件数だけを考慮する場合、研究者の移動によって、A型は厚みを兼ね備えたA+型になっていくが、B型とC型は固定化する(B型もいずれC化？)。  
ただし一方でAはCに一気に変化するリスクをもつ

# 被引用件数とH-iindex



## まとめ？

- 変化を考慮することで、厚み指標の意義が補強される（と思われる）
  - 全ての大学が被引用件数だけを重視すると大学は両極化（固定化）してゆく？
  - 被引用数は高いが厚みは薄いA型はリスクが高い
- ただし厚み変化量 ( $\Delta h\text{-iindex}$ ) だけだと、A→C、C→C、C→Aの違いが判別できない
  - 被引用件数との合成変数